

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 3 年 12 月 30 日

事業所名

キッズサポートてんとうむし

職員数 32 名 回収数 29 名 割合 90%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善 内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの 関係で適切である	28	1	0	密にならないよう活動場 所を工夫している	密にならないように工夫しながら 活動スペースの確保をしていきた い。
	②	職員の配置数は適切である	26	3	0		コロナの影響を考え、継続的に体 制を見直していく。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている	29	0	0	簡易スロープの利用等	
	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル （目標設定と振り返り）に、広く職員が 参画している	22	4	2		業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り） について、職員の参画が出来てい ないため、ミーティングや会議の設 定時間等の工夫をして改善して いく。
業務改善	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によ りアンケート調査を実施して保護者等の 意向等を把握し、業務改善につなげてい る	26	1	0		自己評価を通して改善対策を実 施している。今後も保護者様等 のご意見・ご要望に応じて、業務 改善を図っていく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報 やホームページ等で公開している	17	4	1		ホームページや東京都にも公開
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結 果を業務改善につなげている	15	8	0		外部評価については、検討中。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の 機会を確保している	26	3	0	コロナ禍の為、ビデオ研 修にて対応。	オンライン研修や少数での研修を 実施。来年度においては、定期 的な研修が実施できるように計画 していく。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護 者のニーズや課題を客観的に分析した上 で、放課後等デイサービス計画を作成し ている	25	1	0		個別支援計画書を個別ファイル にて確認できるようにしている。こ れをもとに、多職種の情報収集を していく。また、職種間の情報交 換が出来るよう、それぞれの記録 もさらに活用出来るように工夫し ていく。

適切な支援の提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	16	7	0	標準化されたアセスメントツールについては、療法士を中心に検討中。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	20	5	0	児童指導員を中心に立案し、実施している。個々の状況について、療法士からの意見やアドバイスも盛り込んでいく。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	26	1	0	季節の行事や屋外活動等を取り入れ、子どもたちが様々な体験の機会を得られるよう工夫していく。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	21	4	1	様々な工夫をして、子どもたちの発達支援に生かしていきたい。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	27	0	0	個別支援計画書にも記載しているとおり、日々の活動プログラムにも個別活動と集団活動の場面設定をしているが、職員全員が周知できるように工夫が必要。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	26	1	0	朝の申し送りにおいて当日の流れは確認している。まあ、ボードの活用に周知内容を記載し、全職員が周知できる工夫をしている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	15	8	1	常勤職員間では確認できているが、全職員と情報共有できるよう工夫が必要。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	24	4	0	サービス提供書や職種ごとの記録を活用し、振り返りや情報共有を図っていく。
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	22	2	0	6ヶ月を目安に実施
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	20	2	0	「発達支援」「家族支援」「地域支援」「医療的ケア」等の項目ごとに個々の状況を評価し、個別支援計画を策定し、支援に繋げている。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	22	2	0	現在は児童発達支援管理責任者が主となっているが、必要に応じて他職種も参加していく。
㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	24	2	0	必要に応じて情報共有、連絡調整を図る。	

関係機関や保護者との連携	⑳	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	26	1	0		必要に応じて主治医や医療関係機関と連絡をとるほか、嘱託医に定期的に相談している。
	㉑	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	23	2	1		ケースによるが、情報共有は図っている。今後はすべてのケースについて、連携・相互理解が図れるような体制づくりを目指す。
	㉒	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	25	1	0		関係者会議等を通じて情報を提供し、スムーズに移行できるよう協力、支援している。
	㉓	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	16	6	0		関係者会議を通して連携や助言を受ける機会がある。今後とも連携を図っていきたい。
	㉔	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	8	4	12	コロナ禍の為、外部との交流はしていない。	現在はコロナの影響で交流できないが、オンライン等を活用し、交流の機会を設けていきたい。
	㉕	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している	11	10	1		市の自立支援協議会に参加
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	26	1	0		共通理解を図るために面談を実施予定。
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	16	5	1		現在は個別に対応しているが、参観日などを設けより具体的な家族支援に繋げていきたい。
保護者への	㉘	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	24	1	0		ご契約時に説明
	㉙	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	26	0	0		必要に応じて都度対応。ご家族からの聞き取りや、こちらからの働きかけも継続課題。
	㉚	父母会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	12	6	6		現在はコロナの影響により、保護者会の開催は見合わせ。開催方法を検討し、保護者間の連携に繋げていきたい
	㉛	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	28	0	0		苦情対応マニュアルを基本対応としながら、状況に応じて適切な対応を心がけていく。マニュアルについては、全職員への周知を徹底する。

の 説明責任等	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	18	5	3	地域誌などを活用している。	「てんとうむし通信」の発行を検討中。
	③⑤	個人情報に十分注意している	29	0	0		十分気をつけているが、引き続き徹底に心掛ける。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	28				全職員に向け研修を検討。また、日々の対応の中で、職員一人一人が言葉遣いや聞き取りの姿勢に配慮できるように指導していく。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	13	6	6		現在はコロナの影響により行事開催は見送り。地域に開かれた事業運営につながる策を講じていきたい
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知している	24	1	0		事業所内に掲示しているが、全職員への周知が不十分。また、訓練について来年度実施に向け計画中。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	18	5	3	訓練まではいかないが対応策はマニュアル化している。	コロナの影響で今年度は未実施。例年は定期的に実施。来年度に向け計画中。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	28	0	0		事業所内研修を実施・虐待防止委員会の発足等、適切な対応を心掛けている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	26	0	0		個別支援計画書に記載の上、保護者に口頭で伝達。子どもには十分な声掛け等職員の対応方法について周知。今後とも見直しを含め、安全面と虐待防止の観点から対策を講じていく。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	26	0	0		医師の指示書および保護者からの情報を基に対応
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	24	2	1		会議等で公表、周知

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。